

# Cheer

チアー [cheer]

応援すること・励ますこと・激励すること  
元気がよいこと・気分がよいこと・おいしいこと

NO.17

## Reportage of Graduates

### それぞれの卒業後を追う

#### ドイツ在住ジャーナリスト／高松 平藏

#### エリア探訪「伊勢編」

生姜糖製造販売 | 喜久屋 | 経営 / 阪田 知昭

#### 地元で頑張っています

瀧尾神社宮司 / 佐々貴 信美

#### 卒業生リレーエッセイ

水谷 平・中野 恵二・三木 秀則

#### Memories of KGU

あの先生は、今 / 田畑 要先生

## 特集 同窓会創設30周年記念式典

- 厳かに、華やかに、記念式典を開催
- 記念授業 「転はぬ先の杖」 / 米田 貞一郎先生
- 記念講演 「私の映画人生」 / 井筒 和幸監督
- 再録 最高に盛り上がった！記念パーティ
- デジタルカメラGET！ ホームページ開設記念抽選会
- 総額100万円！ THANKS30抽選会

## KGUトピックス

### 同窓生の家族に有利な「同窓会入試」がスタート

「メディア文化学科」がリニューアルスタート

2005年度入試日程・科目のご案内

#### 同窓会の広場

京都学園高校に澤村栄治ブロンズ像を建立  
懐かしの下宿を訪ねて / 岩本 卓三さん・修子さん  
人事慶弔告知板・事務局だより

#### クラブ活動リポート

サッカー部・二輪部





ドイツ・エアランゲン市から、行政・環境・文化など幅広い地域情報を発信しています。

ドイツに拠点を置き、ローカルな諸問題に鋭く迫るジャーナリスト。

## 高松 平藏

平成5年経済学部経済学科卒業  
ドイツ・エアランゲン市在住のジャーナリスト。  
Sophienstrasse 91 91052 Erlangen Germany  
TEL & FAX. +49 9131-40 57 62  
E-MAIL/heizo.takamatsu@fen-net.de



### インターローカルニュース

高松さんの主要な情報発信源のひとつ。「インターローカル」をコンセプトに、インターネットを通じてアート、文化、NPO、企業、行政など地域に視点をのせたニュースを、ドイツ・エアランゲンから発信している。  
URL <http://www.interlocal.org/interlocalnews.htm>

### グローバル時代だからこそ注目したいローカル情報

昨年6月、高松平藏・アンドレア夫妻の共著『エコライフ ドイツと日本どう違う』と題する本が出版された。いわば「環境問題」を切り口とした比較文化論で、さまざまな実例をあげながらドイツ人と日本人のものの考え方や生活習慣、社会システムの違いなどを平易な文体で著述した好著である。その主要舞台となっているのがドイツ南部の地方都市、人口約10万人のエアランゲン市である。ここはアンドレア夫人の故郷であると同時に、高松さんの現在の活動拠点でもある。「ジャーナリストとして、私は地域報道にこだわりを持っています。なぜなら、グローバルな時代であるからこそ、ローカルが重要だからです。ローカルとローカルが幾重にもつながった関係性のなかにこそ、本当のグローバルがある、というのが私の考え方です」



高松さんと3人の子どもたち。ドイツの自宅にて。(Photo: Mie Cindric)

「たとえば日本では、地方分権についての論議が盛んです。しかし、今の日本にそれが定着し得る仕組みがあるのか、ローカル同士のネットワークづくりができるかといえば、かなり難しい。その点、ドイツは地方分権が基本の国だから、各地域が行政的に、あるいは社会システムとしていかに自立しているかを知ることは大いに意義があります。そして、そこにジャーナリストとしての私の役割があると考えています」

### 活動を通じて人脈を広げジャーナリストへ転身

では、ジャーナリストとして活躍する高松さんの原点はどこにあるのか。「実は私、10代のころからアートのファンでした。進学にあたってインディペンデントな動きが盛んな京都を選んだわけです。入学早々、前衛舞踊「舞踏」に首を突っ込むようになりました」「一方学内では、国文学者であり、能楽師でもある山崎先生にすすめられて、先輩と一緒に能楽部を立ち上げました。また、「舞踏」とも能とも共通するテーマとして、日本人の体にあつた舞とは何かを研究するために、図書館に入り浸ったこともありましたね」こうした活動を通じて、どんどん人脈が広がっていったのも大きな収穫であった。卒業後、3年ばかり印刷会社に勤めたあと独立し、友人のデザイナーやカメラマン、イラストレーターなどとともに大阪

で共同事務所を設立し、自らはライター兼プランナーの肩書きで雑誌記事などの執筆にあたった。

この仕事を通じて知り合った、現在の京都経済新聞社・報道ネットワーク代表取締役編集長である築地達郎さんの、「一緒に新聞社を始めないか」という誘いが、その後の高松さんの運命を決することとなった。1996年、京都経済新聞社を立ち上げるとともに、築地さんからジャーナリストとしての心構えや文章の書き方を伝授され、ジャーナリストへの転身を遂げたのである。

### 最良のパートナーを得てさらに活動領域を拡大

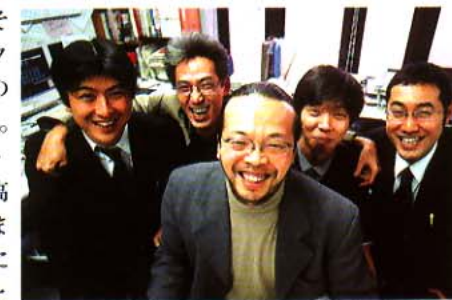
JR丹波口駅近くに新設された京都リサーチパーク4号館に、いくつかの起業家向け1坪ブースが設けられ、ここが新事業のスタート台となった。そして、これらブースのセクレタリーを務めていたのが、アンドレア夫人である。結婚半年後に彼女の故郷・エアランゲン市を訪れた高松さんは、豊かな森に囲まれたこの街がすっかり気に入って、ここを仕事の拠点とすることにした。

「ジャーナリストとして地域情報を発信する一方で、今後はフォーラム型のシンクタンク機能をプラスしていきたいと考えています。環境問題や文化政策などを視察するために、エアランゲンを訪れる日本人は少なくありません。そういう人たちに、うわべだけを見るのではなく、真の理解を深めてもらいたいと思っています」

「たとえば環境対策にしても、現在の仕組みがなぜ生まれ、どういったシステムで運用されているかを知る必要がある。そのためには、その問題にかかわる現地の人たちとの、かなり突っ込んだディスカッションも必要でしょう。そうした場を設定し、問題解決のために働くことも、地域報道に徹する私の大切な役割のひとつだと思っています」



化学同人社から出版された『エコライフ ドイツと日本どう違う』。環境問題を比較文化論という新たな視点から書いている。



日本での活動拠点である京都経済新聞社の仲間たち。こうした多くの人脈が高松さんの活動の支えとなっている。



エアランゲンで取材活動中の高松さん。取材テーマはふたつ。取材対象も市長から一般市民まで実に幅広い。(Photo: Mie Cindric)



# エリア探訪 伊勢編

## 伊勢といえば皇大神宮(内宮)。この地で親子孫三代にわたり、伝統の銘菓「生姜糖」を伝承。



### 年間300万人以上の参拝客で賑わう参道「おはらい町通り」

京都・大阪から近鉄特急で2時間前後の伊勢は、日帰りでも十分に行ける手軽な観光地だ。歴史遺産を中心に見所の多い土地だが、なかでもその基点となっているのが、年間300万人以上の人々が参拝に訪れる日本の総氏神様・皇大神宮(内宮)である。

その参道「おはらい町通り」や、赤福本店を西へ入った「おかげ横丁」にはみやげ物店や飲食店などが軒をつらね、いつも観光客で賑わっている。そんな「おはらい町通り」の一角に、今回紹介する「喜久屋」がある。



神宮のお札の形を模して作られた生姜糖。生姜糖、抹茶味、ニッキ味、それに小豆入り生姜味の4種類が作られている。

### 約80年にわたって受け継がれた経験と勘が勝負の生姜糖づくり

生姜糖づくりを始めたのは約80年前、祖父の代からだという。そして現在地に店を構えたのが約70年前で、以来、親子孫三代にわたって伝統の技と味が伝えられてきた。「嗜好やみやげ物の多様化でお客様が減り、同業者は4~5軒だけになりました。でも、お蔭様でうちは昔からのファンの方が多く、まとめ買いしてくださる方が多いですね」京都学園大学に入学したのは、単純に京都へのあこがれからだだったという。そんな阪田さんの学生時代の思い出といえば、「カメラが好きだったので、米田貞一郎先生が顧問をされていた写真部に入ったのですが、15名の部員のうち、実際に撮影していたのは5名だけ。先生のお人柄がよいうえ、仲間と過ごしたり撮影旅行に出かけたりしたあの時間は、本当に楽しかったですね」

## 阪田知昭

**PROFILE**  
昭和53年経済学部経営学科卒業  
生姜糖製造販売「喜久屋」経営  
三重県伊勢市今在家42  
TEL.0596-22-3718  
卒業後数年間、ケーキづくりの修業を経験した後、家業を継いで現在に至る。  
現在、(社)伊勢市観光協会青年部総務委員長。  
同協会ホームページ  
<http://www.ise-kanko.jp>



高温で煮詰められた生姜糖を型に流し込み、自然に冷やし固める。製法はレシピよりも、火加減・温度管理とすり加減・成形具合に長年の経験と勘が欠かせない。



原料は砂糖と味や香りをつけるための天然素材のみ。食品添加物など一切使わず、生きたお菓子なので、噛むのが安心して食べられるのもロングセラーの理由。

### 阪田さんに聞きました

## 伊勢観光おすすめスポット



①皇大神宮(内宮)  
祭神は天照大神、ご神体は三種の神器の一つである八咫鏡。正殿は日本最古の建築様式である「唯一神明造」である。



②神宮齋宮館  
内宮・外宮をはじめとする神宮の歴史資料が展示された博物館。隣接地に姉妹施設として農業館や美術館もある。



③おはらい町通り  
商店街を少しはざると、昔ながらのレトロな街並みが続く。商家風の銀行や郵便局など珍しい風景が見られる。

## 平安期創建とされ、「猿力松」で知られた京都東山区・瀧尾神社の宮司として、約160年ぶりに神猿神輿巡行を復活。

### 地元で頑張っています



佐々貴信美  
昭和51年経済学部経済学科中退  
瀧尾神社宮司  
京都市東山区本町11丁目718番地  
TEL.075-531-2551

●伏見街道の名物だった「猿力松」  
京都駅からJR奈良線で1つ目、東福寺駅から北へ10分ばかり歩いたところに瀧尾神社がある。「源平盛衰記」にその名が見られるところから、平安期に創建されたと推測されるが、現在の本殿・拝殿などは1839年に建てられたもので、昭和59年には京都市指定文化財となっている。  
この神社の境内には、かつて猿の陶製の像3体が置かれた「猿力松」と呼ばれる松の木があり、近くを通る伏見街道の名物になっていたという。現在はその複製2体がつくれ、本殿の階段と屋根の上に置かれている。

●神輿巡行で地域との交流を復活  
佐々貴さんがこの神社を継ぎ、宮司になったのは昭和54年のこと。「もともと瀧尾神社は、大丸百貨店の祖である下村家の私的な神社という性格を持ち、地域の人たちとの交流がほとんどなかったんです。しかし、神様は信仰する人々との関わりがなければ成り立ちません。そこで、約160年ぶりに神輿巡行を復活させることにしたわけです。古い伝統を守ることも大切ですが、逆に何でもできる開放的な神社があってもいい。人は楽しいことには積極的に参加するし、それによって神社にも地域にも活気が生まれますからね」

●人命救助で表彰された学生時代  
実は佐々貴さんは、宮司になるという事情もあって京都学園大学を中退している。しかし、当時の友人とは今も付き合いが続いているという。「学生時代に忘れられないのは、宇治の市営プールで2度もおぼれた子を助けたことですね。1度目は新聞に掲載され、2度目は学長名で表彰されました。その意味で京都学園大学への思いは強いものがあります」  
瀧尾神社ばかりでなく、京都神輿愛好会のメンバーとして各地の神輿を担ぎに出かける佐々貴さんは、持ち前のバイタリティーで、さらに新たな神像像を目指して活動を続けている。



女神輿が先頭を歩き、次いで男神輿、しんがり(乗馬)の宮司の騎で、東福寺や新熊野神社などを通り約6kmの道のりを巡行する。「はいっとはいっど」「ようさようさ」など掛け声も独特だ。



神楽殿の天井に施された彫刻。全長8mあり、「丸彫り」としては「日本一」という文化庁の折り紙つきの逸品だ。



神社にはキツネの扮装をして行列した船馬が残されている。大名行列をはばかってそんな扮装をしたようだが、その故事にのって神輿の担ぎ手も宮司も巡行の際はキツネの面をつける。

神輿が安置された神楽殿全景。男神輿は1998年に、小型の女神輿は2001年に完成した。いずれも猿(神猿)の像を載せており、また女神輿は京都では4社だけの珍しいもの。



# 卒業生リレーエッセイ

忘れられない学園生活の思い出や近況をリレー形式で綴ってもらおうと始めた卒業生リレーエッセイは、確実にバトンタッチされてその輪が広がりつつある。今後は同期生ばかりでなく、先輩や後輩へもつながっていくことを期待したい。

## 思い出の「WEEKLY CONCERT」、今も趣味でバンドを続けています。



水谷 平  
経済学部経済学科  
昭和52年卒業

思い出深いのは「WEEKLY CONCERT」で4年間を過ごしたことです。5代目の代表を経験させていただき、ステージの確保に苦勞したこと、その名のおりできるかぎり週1回のコンサートをやったことなど、今でも懐かしく思い出します。

卒業後は、小学校および養護学校の教師として過ごしています。何年か前の「第1回教職課程OB・OG会」に出席し、恩師や先輩の方々と当時のことを懐かしく歓談できました。また機会があれば、ぜひ参加したいと思っています。



今はバンドのミキサーが趣味。写真はイベント会場でのステージおよびミキサーで使用している機材。

次は吉仲 和夫さん  
昭和62年経済学部経済学科卒業を紹介します。

NEXT

## イベントの楽しさ・面白さを体験。龍尾祭のOB会を始めませんか？



中野 恵二  
経済学部経営学科  
昭和57年卒業

明治41年創業の精米所を4代目として継いでいます。学生時代の思い出といえば、なんといっても龍尾祭です。3回生の時に実行委員となり、イベントの楽しさ・面白さを体験。未だにイベントと聞けばウズウズし、昨年の同窓会30周年記念式典

にも、懇親会担当のスタッフとして参加しました。毎年行っている龍尾祭実行委員会の同窓会を、今年もぜひやりましょう。また、龍尾祭のOB会をつくれたらと思っています。賛同していただける方がおられたらお声をかけてください。



いま売り出し中の「丹波七福米」。古代米(赤米・黒米)をブレンドしたもので、マスコミも注目の新商品。

次は中島 道明さん  
昭和69年経済学部経営学科卒業を紹介します。

NEXT

## 学生時代の思い出を酒の肴にして、ぜひ同窓会をひらきましょう。



三本 秀則  
法学部法学科  
平成6年卒業

クラブ活動の後、毎週のように食事にカラオケ、ドライブと遊びまわり、時にはみんなで朝まで語り明かしたことが、今でも懐かしい思い出の一つとなっています。あの頃は毎日が本当に充実していました。「同窓会30周年記念式典」で

は、卒業以来なかなか会う機会がなかった友人と久しぶりに楽しい食事ができ、とても満喫しました。抽選会では惜しくも外れてしまい、残念な思いをしました。同窓生のみなさん、学生時代の思い出を酒の肴にして、ぜひ同窓会をひらきましょう。



平成7年7月15日に結婚し、昨年、待望の長男が誕生！これは家族3人でお宮参りした時の写真です。

次は河西(旧姓菅田)久美子さん  
平成7年経済学部法学科卒業を紹介します。

NEXT



「これからは会計制度が後れている中国で活躍する人材に期待がかかる。法学に強い理理工、公認会計士を目指すほしい」と期待をこめる。

## あの先生は、今

今回お訪ねしたのは、本学創立当時から在籍され、今も何かとお教えいただいている田畑 要先生です。学生主事や教務部長を務められ、空手部顧問としてもお世話いただいた先生には、思い出深い人も多いと思います。

# 亀岡は今では貴重な「里山」。 京都学園大学は教育環境に 恵まれたすばらしい大学です。



田畑 要先生  
昭和27年同志社大学商学部卒業。高校教師を17年間務めたあと、昭和44年京都学園大学開学と同時に専任講師として赴任。50年助教授、61年教授。平成12年に退職後も大学院特任教授を務め、13年名誉教授となる。

「京都商業高校に勤務していた縁で初代の辻本理事長と知り合い、誘われて大学の創設に参画することになりました。私が初めて京都学園大学を訪れた時、まず感じたのは「京都の亀岡は里山だ」という思いでした。豊かな山林があり田園風景も広がっている。他の大学は高層ビル化が進んでいるなか、これだけ自然に恵まれた教育環境は今では珍しくなりましたね」「思い出深いのは空手部の顧問です。部員のなかでいろいろと問題行為があり、顧問になる人がいなくなって

何故か私が引き受けることになりました。結局20年間続けましたが特別強い選手は数人しか出なかったけれど、みんな目がキラキラしていてとてもいい学生ばかりでした」

「研究面や学生との関係からいえば、やはり大学院への思いが強いですね。とりわけ力を入れてきたのが農業会計です。戦後の農業政策のなかで、わが国の農業は近代化から著しく立ち遅れてきました。しかし、まだ一部ではありますが農業の近代化・法人化、あるいは農地を基盤にした新しい起業を目指す人たちが出てきています。その基本となる近代的な農業会計の確立が待たれています。残念なことに最近体調が思わしくなく、思うように研究が進んでいませんが、若い研究者の手によって、ぜひ意欲的な農業経営者の期待に応えてもらいたいものです」



「学業はもちろんだが、もっと大切なのが人間性。京都学園大学からは、どこに出しても恥ずかしくない学部生・大学院生が数多く巣立っている」と語られる田畑先生。





# 厳かに、華やかに、 同窓会創設30周年 記念式典を開催！

平成15年11月2日、ついにその日がきた。  
京都学園大学同窓会がスタートして30年、  
記念すべき節目をともに祝おうと、  
早朝から次々に同窓生がやってくる。  
折しもこの日は龍尾祭、  
会場へ向かうメインストリートの両側には、  
趣向をこらした模擬店が立ち並び、  
在学生たちの若く元気な声がこだまする。  
やがて定刻の午前11時、  
悠心館の大講義室で式典の幕が切って落とされた。



THANKS 30

— 西酒の壺園で会いましょう —



**齋藤 豪**  
30周年記念式典委員長  
平成8年経済学部経済学科卒業  
平成10年大学院経済学研究科修了

## 30周年記念式典委員長の挨拶

同窓会創設から30周年、同じ年代の私が式典委員長に選ばれたことに喜びと運命的なものを感じながら、今回の大役を務めさせていただきました。  
今回ホテルではなく大学での開催となった理由は、新しい建物、新しい学部がいくつもできた大学の発展した姿を皆様に見ていただきたかったことはもちろんですが、懐かしいキャンパスに戻り、懐かしい先生・職員の方々と、そして旧友たちと出会うことで、青春の原点である大学への感謝の気持ちを思い出していただきたかったからです。  
同窓会としては今後皆様のご助力を得ながら、地方支部の創設、そして大学へのより一層のサポートを行っていきたく考えています。  
最後に、当日はあいにくの天気にもかかわらず、同窓会創設30周年記念式典にお越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。また、残念ながら今回の式典に参加できなかった皆様、どうぞ年に一度龍尾祭でのホームカミングデイでお会いしましょう。

## 式典への参加者およそ400名！ 18,430名の同窓生の力を一つにして、 社会での活躍と母校の発展を誓う。

### 同窓会の発展を力強く宣言 ～浅野同窓会会長式辞～

午前11時、定員400名の悠心館大講義室がほぼ埋めつくされたなか、開会の辞によって式典が開始された。国歌が奏楽され、物故者に対して黙祷が捧げられたあと、式辞に立った浅野真実同窓会会長は、「京都学園大学から18,430名の卒業生が巣立ち、その多くが社会の中堅として活躍している。同窓会のさらなる発展を期するとともに、母校の発展のために力を尽くしたい」と力強くあいさつした。

### プログラム

10:00	受付
11:00	式典 <small>(開会の辞、式辞、祝辞、祝電披露、事業報告、奨学金授与、スケジュール説明、閉会の辞)</small>
11:30	なつかしい先生の授業
12:20	記念パーティー



▲なつかしい大学歌を同窓生全員で斉唱



▲辻本一彦理事長



▲奨学金授与



▲浅野真実同窓会会長



▲海原徹学長

### 辻本光楠先生の伝記を出版 ～海原 徹学長祝辞～

次いで海原学長からは、次のような祝辞をいただいた。  
「京都学園大学は、平成20年に創設40周年を迎えるわけだが、それに先駆けて17年には、本学の前身・京都商業が創立されて80周年を迎える運びとなった。これを記念して、かねてより執筆・編集を進めてきた辻本光楠先生の伝記を、16年度早々にも出版したい。光楠先生は、明治時代から「日本人らしい日本人、同時に国際人の育成」を提唱してこられた。その遺志を、これからもしっかり受け継いでいきたい」

### 新学部構想で少子化に対応 ～辻本一彦理事長祝辞～

学長に続いて、辻本一彦理事長からも次のような祝辞をいただいた。「同窓会の発展なくして、大学の発展はない。30周年を機に、同窓会とともに本学もますます飛躍発展を遂げていきたいが、その意味でも16年4月から始められる同窓会の支部づくりに大きな期待を寄せている。少子化が進み、大学経営も多難な時期を

迎えているが、これに対応するため新学部構想を進めている」

### 記念事業寄付金および 在学生への奨学金を授与

祝辞のあと、京都学園創立80周年記念事業の一環である澤村栄治投手像建立(別項参照)費用として、同窓会より学園に対して寄付金を贈呈した。また、大学の名声を高めた在学生7名に対して同窓会より奨学金を授与し、最後に全員で大学歌を斉唱して11時25分、とどこおりなく式典を閉会した。このあとプログラムは、米田貞一郎先生の記念授業へと移っていった。





●プロフィール  
 米田貞一郎先生  
 昭和9年京都帝国大学文学部史学科卒業。小学校および高校教諭、高校校長、京都市教育委員会社会教育課長・指導部長等を経て、昭和44年に開学した京都学園大学に赴任。昭和61年退職後も、京都コンピュータ学院の校長を務められるなど、93歳の今も元気に活躍されている。

## 老境は人生の本当の余禄。年齢よりも、健康と意欲を保ち続けることが大切。

記念授業  
 「転ばぬ先の杖」～老境について～



▲チャイムの音とともに米田先生の授業がスタート。かつての数え子たちから大きな拍手で迎えられた

### 昔から問われてきた老境はいつ始まる？

「行動は持続すべし、向かう道に打ち込め。あきらめず、全力主義でやるだけやれ」と、京都大学学長だった平沢先生の言葉を引用しながら、とても93歳とは思えない張りのある

声で、米田先生は講義を始められた。最初のテーマは老境とはいつからか。「サムエル・ウルマンは『青春とは心の持ち方。理想を失う時に老境は始まる』と語っています。また、古代ローマのキケロの先輩であるグレートカトーが84歳の時、若者から老人とは？と聞かれて『青年期のあらゆる経験より価値あるもの』と答えています。老境とは年齢ではなく気持ちの持ちようであり、人生の本当の余禄だと言えるでしょう」

### 老境4つの理由とそれに対する対策

では、老境にいたる理由は何か。先生は①仕事を失うこと、②肉体機能の低下、③意欲の衰え、④死への接近、という4つをあげたうえで、それらに対する対応策を話された。

「仕事を失うのは寂しいことですが、老人ならではの仕事もあるはず。若者にはない知力を結集し、経験をみんなに分け与えることです」「肉体機能が衰えたなら、力相応のことをすればいい。自分の体は自分が一番わかっているわけで、私は今も週1回のテニスを続けています」「確かに、歓楽や遊興への意欲は衰えますが、仲間とのだんらんや歓談があればそれで十分です」「どうせ死ぬのだと思えば、自然のままに生きていけるものです」

### 脳に刺激を与えて老化を防ぐことが大切

いくらか気持ちは若くても、物忘れがひどくなるなど、年齢とともに老化

現象は確実に進んでいく。先生は老化現象を物語るものとして①食欲、②性欲、③群れる欲、という3つの欲の減退をあげ、これを防ぐ対策として脳を刺激する必要性を説かれる。「食欲を活性化するためには、旬の食べ物をよく噛んで、よくアゴを動かすことです」「性欲はやむを得ないとして、群れる欲については、できるだけ大勢の中に入ってワイワイやることです」「そしてもう一つ、長年の知識や経験を生かして、次代の人材を育成することも大切です」

### 足るを知って自然に生きよう

次に先生は、言葉遊びのような老化防止法を披露された。



先生の講義に聞き入っている。学生時代の思い出が鮮やかに蘇る

◀記念授業は1999年2月に完成した「愁心館」で行なわれた

「まず、つねに心がけたいカキクケコ。つまり、その頭文字をとった感動・興味・工夫・健康・恋の5つです」「次は7字の詩。①弱音をばはくな、②クヨクヨするな、③泣き言いうな、④うしろを向くな、の4つです」「そして、私がモットーにしているのが「5出の法」です。①顔を出す/大勢の中に入る、②手足を出す/運動をし太陽にふれる、③声を出す/閉じこもらず人と話す、④意見を出す/聞くだけでなく意見を出して頭を鍛える、⑤よく食べよく出す/これは言うまでもないでしょう」最後に「足るを知って自然に生きることが一番です」と講義を結ばれた。

### 波乱に満ちた青春時代の興味深いエピソードの数々

同窓会創設30周年記念式典のメインイベントともいべき井筒和幸監督の講演は、午後3時より光風館21教室で開催された。超満員の聴衆の盛大な拍手に迎えられた監督は、波乱に満ちた青春時代の思い出から語り始めた。

学園闘争の嵐が吹き荒れ、ロックアウトの余波で入るべき大学が見つからなかった高校卒業時の空しさ。人生に夢も希望も持たず、働く意義も



見いだせずに悩み、ブータローで過ごした数年間の思い出。アルバイトで着ぐる

みを着てCM撮影をし、汗を流して物づくりをする意義と労働の喜びを初めて味わった体験談。そして大きな映画会社に入っても、営業にまわされたりして、肝心の映画づくりができないのではないかと考え、自ら映画制作グループを立ち上げたことなど、興味深い話が続く。さらに「二代目はクリスチャン」で京都撮影所にいたころ、原作のイメージに合う教会探しで苦労した話。「岸和田少年愚連隊」の撮影時、岸和田でマンション暮らしをした話など、映画づくりにまつわるさまざまなエピソードも語られた。

### 生活に根ざしたリアルな日本人の姿を描いていく

「ボクは事件記者。だから机上で考えるのではなく、実際に現場へ行っ



て聞いて回ります」という監督は、最近話題になった映画を例に

挙げて語る。「リストラされた男が逆恨みして、重役を2人も殺すというストーリーがあるでしょ。そんなこと、ありえないですよ。あれをつくった連中は、全く世の中がわかっていない。身の回りにはリストラされた人がいっぱいいて、みんな必死で仕事探しをしているんです。そういう人たちを励ますのが映画であって、ありえないことでヒロイズムをつくるようなものを、ボクは映画として認めたくないですね」

「映画は時代とともにあるべきもの。今の日本にはアホ文化、幼児文化がはびこっていますが、映画はもっと純粋なものです。ボクは生活に根ざしたリアルなものを撮っていきたい。日本人はどう生きているか、どう生きようとしているかを描いていきたいと思っています」「ボクたちは感動を売るのが商売」と語る監督が、これからどんな映画をつくって観せてくれるのか、ますます期待が高まる講演であった。

## 井筒和幸監督講演「私の映画人生」



映画は感動を売るのが商売。人間のリアルな生きざまを時代を超えて撮り続けたい。

●プロフィール  
 井筒和幸 (いづつ かずゆき)  
 1952年、奈良県大和郡山形市生まれ。興立奈良高校在学中から8ミリや16ミリの映画を撮り始め、1975年、高校時代の仲間と映画制作グループ「新映倶楽部」を設立。同年、「行く行くマイトガイ・性春の悶々」で監督デビュー。1981年、「ガキ帝国」で日本映画監督協会新人奨励賞を受賞。1996年、「岸和田少年愚連隊」でブルーリボン最優秀作品賞を受賞。上記のほか、「晴れ、ときどき殺人」「二代目はクリスチャン」「犬死にせしもの」「宇宙の法則」「突然炎のごとく」「のど自慢」「ビッグショー!〜ハワイに唄えば」「ゲロッパ!」などの作品がある。







仲間を誘い合って、この日のために山陰方面から2泊3日でやってきました。私たち、実は龍尾祭つながりなんです。中執で3年間苦労をともにしましたからね。  
(経済学部/昭和57年・58年卒/男性3人グループ)

## 飲んだ、食べた、語り合った！ 最高に盛り上がった 記念パーティ



参加者が思ったより少ないように感じたんだけど、式典もパーティも盛大でよかったですね。料理もたっぷり用意されているしね。  
(経済学部/昭和49年卒/男性)



12時20分、会場を白雲ホールに移し、記念パーティーが催された。参加者は用意されたテーブルにそれぞれの卒業期ごとに集まって、お互いの無事と再会を喜び合い、ひさしぶりの飲談に花が咲いた。パーティの途中には豪華景品が当たる2つの抽選会も行なわれて、大いに盛り上がるなか名残を惜しみつつ14時10分閉宴となった。

米田先生の授業がよかったですね。変わりなくお元気で何よりです。  
(経済学部/昭和49年卒/女性)



同期生が4人しか来ていなくて残念です。でも、料理には大満足！今どき1000円でこれだけの料理が食べられるなんて、めったにないですからね。  
(経済学部/平成5年卒/男性)



ふだんは大学の近くを通りかかっても入りにくいので、今日はよかったです。これからも同窓生の動静を知るために、Cheerはぜひ続けてほしいですね。  
(経済学部/平成6年卒/男性)



1997年に入学した「森敬ゼミ」のみんな、全員集合！  
(経済学部/平成13年卒/女性)



こういう機会があって嬉しかったです。また、ぜひ集まりたいですね。  
(経営学部/平成13年卒/男性)

1997年入学の「坂本ゼミ」生、全員集合！  
(経済学部/平成13年卒/女性3人グループ)



なつかしい先生に会えて、学生時代に戻った気分になりました。  
(法学部/平成10年卒/女性)



記念パーティが最高に盛り上がるなか、同窓生待望の2つの抽選会が行われた。1つは「ホームページ開設記念抽選会」。前号のCheerでお知らせしたように、2003年9月1日に開設した同窓会ホームページを記念し、デジタルカメラ3台をプレゼントするもので、ホームページにアクセスした同窓生および記念式典への出欠ハガキを出した人すべてが対象とされた。もう1つは30周年記念式典のメインイベントのひとつである「THANKS30抽選会」。こちらは当日の出席者が対象で、サンフランシスコへの30万円相当のペア旅行券をはじめ総額100万円の賞品が当たるという豪華なもの。当選番号が発表されるたびに会場内には歓声とため息が入り混じり、たいへんな興奮と熱気のうちに抽選会を終了した。

# ホームページ開設 記念抽選会

「ホームページ開設記念抽選会」は、ホームページにアクセスした人2569名、出欠ハガキを出した人421名の合計2990名を対象に行なわれ、下記の3名の同窓生がデジタルカメラを獲得した。



**宝くじに当たるより  
うれしかった！  
ホームページの情報は  
しっかり活用します。**

## 横溝 伊佐雄

●経済学部経営学科昭和49年卒

ただいま妻・長女・次女の4人家族です。思いがけずデジタルカメラが送られてきて、家庭内がパッと明るくなりました。宝くじに当たったよりうれしいと、家族で大喜びしています。ホームページの情報は大いに活用させてもらいますが、就職問題や環境問題などもっと幅広い話題を取り上げるようにすれば、さらに利用者が増えると思います。



先日湯布院を旅行しました

**出席できなかったのに、  
たまたま出したハガキで  
デジタルカメラが  
当たってびっくりです。**

## 辰巳 勝哉

●法学部法学科平成9年卒

卒業後、病院に勤務するかたわら看護専門学校に通って資格を取り、現在は看護師として働いています。そんな勤務の関係上、今回の記念式典には出席できなかったのですが、その出欠ハガキでデジタルカメラが当たったと知ってびっくりしました。パソコンが使えないのでホームページは見えていませんが、同窓会の一層の発展を期待しています。



吉野山の夜桜を撮影しました

**結婚通知のハガキが当選！  
デジタルカメラは、  
産まれて間もない子への  
プレゼントになりました。**

## 高橋 順子

●経営学部経営学科平成10年卒

平成14年4月に結婚し、苗字変更を知らせるために出したハガキがまさかの当選！15年8月に産まれた赤ちゃんへの何よりのプレゼントになりました。今は育児で頭がいっぱいですが、学生時代のことを懐かしく思い出しました。ホームページには大学のある亀岡市や京都の観光スポット、穴場の情報などを掲載していただきたいと思います。



子どもの成長が楽しみです

# 総額100万円の豪華賞品が満載！ 当選発表のたびに一喜一憂した 「記念式典抽選会」。

## 記念式典抽選会

抽選会に先立ち、「THANKS30大学青春メモリーズ」と銘打って、2人の同窓生がスピーカーとして青春時代を語った。最初に登壇した9期生の金森秀樹さん（京都学園大学学生課所属）は「当時も今も亀岡には美しい自然があり、学内にはファミリーな温かさが満ちている。同窓生の皆さんはいつでも訪ねてきてほしい」。また21期生の岸本和也さん（法学部1期生）は「法学部の1期生なので、友だちをどうしてつければいいのか戸惑いがあった。40周年・50周年の時にぜひ再会したい」と語って満場の拍手を浴びた。続いて抽選会に移り、豪華賞品が紹介されると場内がざわめいた。特等がサンフランシスコへのペア旅行券、1等がノ



1等のノートパソコンを手にした神川正彦さん

ートパソコン、2等が国内旅行クーポン券、3等がポータブルDVDプレーヤー2本、4等がデジタルカメラ2本、そして5等に亀岡牛や山の芋などご当地特産品25点がずらりと並び、残念賞がなんと松茸！当選者が発表されるたびに歓声と拍手が巻き起こった。なお、特等を当てた昭和52年卒の北川洋三さんの旅行レポートは、次号のCheerに掲載する予定。



特等のサンフランシスコペア旅行券を獲得した北川洋三さん



壇上にずらりと並べられた豪華賞品の数々



2等の国内旅行クーポン券を当てた森美貴さん

## ホームページ活用をお願い

**さまざまな情報をタイムリーにお知らせする  
ホームページにアクセスして、  
同窓会の「今」をウォッチングしよう！**

がくえんだい どっと こむ  
<http://www.gakuendai.com>



皆さんのリクエストにお応えし、同窓会のホット情報をタイムリーにお届けするために、2003年9月に開設したホームページは、数多くのアクセスを得て好評を博しています。本誌で特集した同窓会創設30周年記念式典およびパーティの様相も、写真を中心に配信していますので、ぜひアクセスしてみてください。

なお、ホームページのメニューの「教えて」をクリックしていただきますと、住所不明者一覧を掲載しています。ご存じの方がおられましたら、ぜひ事務局へご一報ください。お知らせいただいた方にはプレゼントを差し上げます。また、ホームページに対するご意見・ご要望がありましたら、どしどしお寄せください。



# KGUトピックス

KGU Topics

## 1 同窓生の家族を対象にした入試制度を設けます

～「同窓会入試」2005年度からスタート～

かねてより同窓会との連携を強化する一環として、大学内で審議を重ねてまいりました「京都学園大学同窓会入試制度」をいよいよ2005年度からスタートします。これは、本学の教育目的に賛同する卒業生または在学生の家族で、本学を第一志望とする受験生を対象に、模擬授業と面接で判定する入試制度です。

授業料から入学金相当額が免除になりますので、ぜひご利用いただけますようお願い申し上げます。なお、この制度は人間文化学部の前身である京都文化短期大学同窓会も含めます。入試要項・願書を希望される場合は本学入試課までにお申し出ください。

### 京都学園大学 同窓会入試

試験日	9月5日(日)・10月17日(日)
募集人員	若干名
出願資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高等学校卒業見込みの者</li> <li>■受験生の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都学園大学あるいは京都文化短期大学を卒業した者、または京都学園大学に在学中の者</li> <li>■専願であり他を受験しない者</li> </ul>
試験科目	希望学部・学科の模擬授業(レポート作成含む)面接
減免措置	授業料から入学金相当額を免除する

## 2 「メディア文化学科」が2004年度にスタート

～文化コミュニケーション学科をリニューアル～

本学は1999年度に京都文化短期大学を改組・転換し、人間関係学科と文化コミュニケーション学科からなる人間文化学部を開設しました。このうち文化コミュニケーション学科に関して、これからのユビキタス時代のニーズに合った教育を行うため、「メディア文化学科」と名称変更し、カリキュラムも一新して再スタートを切るようになりました。新学科のカリキュラムは、未来の文化を開く「メディア分野」と、人類の歴史に学ぶ「歴史文化分野」の両面から、それぞれの学生が将来の進路や興味関心に応じて

好きな科目が選べるよう配慮しています。また、テレビスタジオやラジオスタジオなど、充実した施設・設備を設置。その一方でスタジオ放送実習、デジタル編集実習、映画撮影実習、伝統文化実習、レファレンス資料実習など10の実習を用意し、知識ばかりでなく実社会で役立つ技術・技能が身につくよう、実践的な教育にも力を注ぎます。これにより、マスコミや情報産業、観光産業、美術関係など、「メディア」と「文化」にかかわる多様な分野で活躍できる人材の育成を目指します。

## 3 来年度入試にお力添えをお願いします

～2005年度入試日程・科目～

2005年度の入試日程が下記のとおり決定しました。お子様はもちろん、お知り合いの方々にも、ぜひ受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。なお、大学案内および入学願書は無料で差し上げますので、ご希望の方は本学入試課までにお申し出ください。

### ■入試日程

制度	選考区分	学科	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日(1次)	入学手続締切日(2次)	試験地	本学	京都府	兵庫県	岡山県	広島県	福岡県	香川県	愛媛県	高知県	徳島県	佐賀県	長門県	大分県	熊本県	鹿児島県	沖縄県	
AO入試	人間関係学科を除く全学科	エントリー、模擬授業、面接	7/1(木)～9/1(水)	7/1(木)～10/13(水)	9/5(日)	9/25(土)	10/5(火)	12/24(金)	本学	○																
			10/21(木)～10/29(金)	11/7(日)	11/13(土)	11/19(金)	12/24(金)	本学	○																	
公募推薦入試	公募推薦入試A方式	英・国・数より1科目+評定点※1	10/28(木)～11/9(火)	11/10(水)・11/11(木)受付可。	11/19(金)	11/27(土)	12/3(金)	12/24(金)	本学・地方	○	○															
			英・国より1科目+評定点※1	11/20(土)						本学・地方	○	○														
			面接+評定点	11/22(月)～12/3(金)	12/12(日)	12/17(金)	1/7(金)	1/28(金)	本学・地方	○	○															
一般入試	一般入試前期	全学科	英・国・数・地歴より2科目※2	1/28(金)	1/28(金)	2/8(火)	2/17(木)	3/4(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			英・国・地歴より2科目※2	1/7(金)～1/21(金)	1/29(土)					本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			英・国・数・地歴より2科目※2	1/22(土)・1/24(月)受付可。	1/30(日)					本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			英・国・地歴より2科目※2	1/31(月)						本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
センター利用入試	センター利用入試後期	全学科	英・国・数・地歴より2科目	2/10(木)～2/22(火)	3/3(木)	3/9(水)	3/16(水)	3/24(木)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			英・国・数・地歴より2科目	2/23(土)・2/24(日)受付可。	3/3(木)	3/9(水)	3/16(水)	3/24(木)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
センター利用入試	センター利用入試前期	全学科	高得点2教科2科目	1/13(木)～1/27(木)	1/15(土)	2/8(火)	2/17(木)	3/4(金)	全国の大学入試センター試験会場																	
			高得点2教科2科目	2/10(木)～2/24(木)	1/15(土)	3/9(水)	3/16(水)	3/24(木)	全国の大学入試センター試験会場																	
同窓会入試	全学科	模擬授業、面接	8/19(木)～8/27(金)	9/30(木)～10/8(金)	9/5(日)	9/17(金)	9/27(月)	12/24(金)	本学	○																

※1 特別奨学生を希望する受験者は2科目 ※2 特別奨学生を希望する受験者は3科目 ※上記の持参受付時間(平日)8:00～17:00(土)9:00～12:00

### ■2005年度 入試の傾向と対策

- <同窓会入試>新規実施の入試  
本学卒業生あるいは在学生の家族で、高等学校卒業見込みの方を対象としています。詳しい情報は入試課までお問い合わせください。
- <AO入試>面接と模擬授業を実施  
面接と模擬授業を通して、「学力試験」と知力を総合的に判断します。※人間関係学科はAO入試を行いません。
- <特技自己推薦入試>得意分野をいかに  
資格・クラブ・授業科目などを幅広く評価する入試です。高校時代の資格や活動を評価します。
- <公募推薦入試A方式>得意科目をいかに  
3科目(英・国・数)の中から1科目を選べるので、得意科目をいかに伸ばす(特別奨学生を希望する受験者は11科目)。
- <公募推薦入試B方式>面接のみで受験  
推薦入試合格の最後のチャンス。面接のみで受験できます。※経営学部では女子推薦枠が設けられています。
- 解答はマークセンス方式が中心  
学科試験は主にマークセンス方式での解答です。
- 数学は記述式  
解答過程にも部分点が与えられます。
- センター利用入試は2回実施  
センター利用入試前期・後期とも、高得点の2教科2科目で判定します。
- 試験日・学部自由選択制  
公募推薦入試A方式、一般入試前期は複数の試験日が設けられているので、好きな日を選んで受験できます。同一学部の複数回受験や他学部との併願も可能です。
- 最高得点を合否判定の対象に  
試験日の連続する入試で同じ学部を複数回受験した場合、最も得意だった日の点数で合否判定をします。
- 問題の出題パターンは例年と同じ  
どの入試制度も問題の出題パターンは例年とほとんど同じです。入試ガイドや問題集(改訂版)で傾向分析ができます。
- 地方試験会場も充実  
全国12地区に会場を設置したので自宅近くで受験ができます。試験会場による有利・不利はありません。

### お問い合わせ先

**京都学園大学 入試課**  
〒621-8555 岡岡市曾我部町南条大谷1-1  
TEL.0771-29-2222(入試課直通)

**入試情報テレホンサービス**  
☎0771-24-8686

**ホームページアドレス**  
<http://www.kyotogakuen.ac.jp>

**Eメールアドレス**  
[nyushi@kyotogakuen.ac.jp](mailto:nyushi@kyotogakuen.ac.jp)



京都学園創立80周年記念事業

京都商業出身の伝説の名投手・澤村栄治の  
ブロンズ像を京都学園高校記念庭園に建立

昭和5年に京都商業に入学、甲子園で活躍したばかりか、17歳で全日本チームのエースとなり、ペーブ・ルースやゲーリックなどを擁する全米チームを相手に好投。その後、創設されたばかりのプロ野球・巨人軍に入団し、数々の快記録を残しながら、昭和19年に27歳の若さで戦死した澤村栄治投手は、京都学園が誇る不世出の名投手です。

そこで京都学園創立80周年記念事業の一環として、母校である京都学園中学高等学校の記念庭園にブロンズ像を建立することとし、昨年11月29日、来賓および関係者が集って除幕式を行いました。像のそばには、京都商業時代にバッテリーを組んだ山口千万石さんの碑文もあり、学園のシンボルとして後世に伝えていきたいと考えています。



ブロンズ像は彫刻家・谷口淳一氏の作で高さは1.9m。黒御影石の台座を含めると約3mあります。生徒たちが語り、将来を考える場になるよう、周囲は緑に囲まれたポケットパークになっています。

午後ホテルグランヴィア京都において、元広島東洋カープの衣笠祥雄氏による記念講演会を開催。氏の体験をもとに野球への熱い思いを語っていただきました。



除幕式当日はあいにくの雨で、一般参加者は傘をさしての式典となりましたが、多くの方が集って新しいシシホルムの誕生を祝いました。



懐かしの  
下宿

下宿生を受け入れて約30年  
健康や栄養バランスに気を配る  
温かくて面倒見のいい大家さん

ロックハイツ  
岩本卓三さん・修子さん  
亀岡市菅我部町南条谷1-18



最初は風呂・トイレ共用的アパートだったが、今はバス・トイレ完備の快適ワンルームマンションで、15室ある。



「下宿生はみんな私たちの子供。顔を見るだけで元気がでます」と話される岩本卓三さん・修子さんご夫妻。

70歳を過ぎてますます元気  
いつでも立ち寄ってほしい

昭和48年、京都市内から亀岡へ引越したのを機に、10名の学生を受け入れた岩本さん。おまけに55年まで、奥さんが大学の喫茶店に勤めておられた関係で、当時の学生とは顔なじみが多く、今でもよく憶えているそうです。「うちの下宿生は、監督さんの口利きもあって野球部員が多いですね。もちろん私たち夫婦は大の野球好き。神宮球場で試合があった時は、バスで東京まで応援に駆けつけたんですよ」「健康管理には気を使いますね。風邪薬をどっ

取材中、野球部OBの元エース河村浩之さんが偶然訪れ、下宿生の元エース梅原伸亮君、岩本ご夫妻とともに写真に納まった。



さり用意しておいたり、体調が悪い子にはおかゆを作ってあげたり、できるだけのことをしています」

「以前はよく食事会をしたものですが、最近はその場所がなくてね。近いうちに店舗を改装する予定なので、みんなで食事ができる場をつくって、バランスのいい食事をとらせてあげたいと思っています」

「2人とも70歳を過ぎましたが、まだまだ元気。京都へ行くことがあったらぜひ気軽に立ち寄ってほしいですね」

人事・慶弔告知板

退職のお知らせ



神谷治美 教授  
〈人間文化学部 人間関係学科〉

●主題・講義内容／家族法論、法学概論（日本国憲法を含む）  
■メッセージ  
在職中は激変する社会に対応できる新しい女性の生き方について、学生達と共に日々学んで参りました。これからも「壮にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず」の気持ちで生きていきたいと思えます。21年間お世話になり有難う御座りました。



石田昌男  
〈入試事務部長〉

●業務経歴／教務課長（平成2年度）、経済学部事務長（平成3年度）、総務課長（平成4年度）、入試課長（平成5年度～13年度）、入試事務部長（平成14年度～15年度）  
■メッセージ  
私は昭和58年から7年間の京都文化短期大学勤務を経て、京都学園大学勤務、同窓会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。京都学園大学並びに同窓会がますます充実・発展されますことを祈念申し上げます。



かいほら  
海原裕昭 教授  
〈法学部 法学科〉

●主題・講義内容／法哲学、法と倫理  
■メッセージ  
私は、私立大学と国立大学・公立大学を含めて十数大学の教授・講師を務めましたが、他大学には見られない自然環境に恵まれたキャンパスがあって、しかも教育と研究の場として適度な規模の本学に在任し、紳士淑女と言ふべき学生諸君と共に定年まで勉学することができたことは、実に幸運でした。今も教室で知り合った懐かしい学生諸君の表情が時に触れて思い出され、同窓として再会し、在学中のこと、その後の人生のことなどについて交歓したい思いに駆られます。それにしても、進展する現代の高度知的社会において合理的に生活するために、学生時代に努力して学習した思想と理論の方法論を応用し、疾風怒濤の現実を克服し、生きて甲斐ある人生を力強く生き抜かれることを衷心より念願しています。



竹林忠司  
〈キャリアサポートセンター〉

●業務経歴／学生課長補佐（平成9年度～10年度）、学生課長（平成11年度～12年度）教務課長（平成13年度）キャリアサポートセンター事務長（平成14年度～15年度）  
■メッセージ  
大学同窓会の皆様、私は昭和39年から学園高校（旧京都商業）・学園大学と40年間勤務させて頂き、今年度をもって学校法人京都学園を定年退職致しますが、高校生、大学生と年代の違いはあっても両校生の絆の強さは肌で感じ、この関係維持を同窓会の皆様へ期待します。

訃報

平成16年3月4日、元学長で名誉教授の水野武生先生が心不全のため87歳で御逝去されました。水野先生は昭和55年に本学へ教授として赴任され、昭和62年4月から3年間にわたって、学長として多くのご功績を残されました。同窓会より、ここに改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成16年4月16日、法学部教授の伊藤勇剛先生が肺がんのため62歳でご逝去されました。伊藤先生は、法学部設置の2年目にあたる平成2年4月から14年間にわたって教鞭を振るわれ、研究活動は勿論のこと、特に学生の厚い信頼を受けておられました。同窓会より、ここに改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

支部創設ご協力をお願い

同窓会では、今回の30周年でお集まりいただいた方々を含め、今後も幅広く皆様とも交流を図り、より一層の大学の発展に寄与していこうと考え、同窓会の地方支部創設を行うための委員会を発足することになりました。まずは、足元をということで、京都支部と滋賀支部の創設を考えております。京都、滋賀にお住まいの同窓会の皆様には、同窓会事務局より支部創設のためのお願いの連絡をさせていただくことがあるかもしれませんが、その節はどうぞ協力いただけますよう、お願いいたします。また、京都、滋賀以外でも、地方支部創設のお手伝いをいただける方を募集いたしております。どうぞ皆様、同窓生のより一層の親睦、交流と大学発展に寄与するために、地方支部創設にご協力いただけますよう、お願いいたします。

企業紹介のお願い

皆様もご存知の通り、即今の新規学卒者の就職状況は学生の二分極化が進むなか、厳正採用を強いられ依然にもまして厳しいものであります。つきましては、皆様が在籍されておられます企業において新卒採用の求人等がございましたら、ご一報いただきたく申し上げます。是非とも、後輩の一助となるようご協力方をお願い致します。なお、求人に関するお問合せ・ご質問等につきましては、下記の連絡先までお願い申し上げます。京都学園大学キャリアサポートセンター  
TEL:0771(29)2260 FAX:0771(29)2269  
E-mail:career@kyotogakuen.ac.jp

事務局だより

●たまには帰っておいで！/A ●第一期生・195名の同窓会をやりたいです/浅野真実 ●記念式典では何十年ぶりに会った人もいて、感激しました/井尻雅丈 ●学園大は第二の家庭です。いつでも気軽に帰ってください/金森秀樹 ●法学部卒業20年目・2013年に会いましょう！/岸本和也 ●支部づくりにご協力お願いします/齋藤豪 ●父親になって早8ヶ月が過ぎました/新宮雅央 ●HP作成に関わっています。皆様のご意見をお待ちしています/谷口善範 ●住所不明の方はぜひ連絡してくださいね/月安修子 ●先日久しぶりに悪友と飲みました。いつまでもたっても親友は大切ですね/ton ●大学での情報を共有し、将来の発展に向かって頑張っていきたいと思います！/中井和夫 ●本学同窓会会員のネットワークづくりを進めたいと思っています/中野大視 ●龍尾祭実行委員会のOB会をつくりませんか？/中野恵二 ●バスケットボール部の皆さん！母校で会いましょう/松本正裕

お便りをお待ちしています

住所変更や近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。  
TEL:0771-22-2001(代)  
FAX:0771-29-2389  
E-mail:  
dousoukai@gakuendai.com



## クラブ活動 レポート

Reportage of Club

クラブ活動は大学の華。それぞれに懐かしい思い出があり、卒業後もOB会を開いたり、コーチを買って出たりと、なんらかのつながりを持っている卒業生は多い。今回紹介するサッカー部もそのひとつで、OBの熱心な応援もあって昨秋ついに2部リーグ昇格を果たした。また、毎年優秀な成績をおさめている二輪部も、全国優勝を果たして大いに気をはいている。

# 2003関西サッカー秋季リーグ戦で宿敵を破り、 念願の2部リーグ昇格を果たす！



## サッカー部

### Aブロックで全勝し 昇格決定戦を制す

それは劇的なゴールだった。3部リーグAブロックで全勝した京都学園大学は、2部昇格をかけてCブロック優勝のびわこ成蹊スポーツ大学と対戦した。春季リーグで大敗を喫した宿敵である。一進一退の白熱したゲームとなり、ついにVゴール方式の延長戦に突入した。先に得点した方が勝ちである。この後のない場面で、絵に描いたようなループシュートが相手ゴールを突き、念願の2部昇格を勝ち取ることとなった。

### 勝つために鍛えぬいた チームワークの勝利

キャプテンの市川真城君は、勝因を次のように語る。「全員が緊張感を持って、勝つための練習を心がけました。特に夏の遠征以降、チーム全体の意識がずいぶん高まったように思います」当面の目標はともかく2部を維持すること。各メンバーがプライドを持って、自分のできる精一杯のことをやること、それがさらに上を目指すための課題といえよう。

### 山下 哲監督の話

毎年OB会を開催したり、コーチを務めていただいたりする一方、OB通信を発行するなど、卒業生の皆さんとの交流は実に盛んです。昭和49年3月に発足したサッカー部は、今年で30周年を迎えます。その記念OB会を開催したいと思っておりますので、一人でも多くご参加いただいて友好を深め、また現役部員を叱咤激励していただきたいと願っています。



## 二輪部が「2003 CAMPUS OFFROAD MOTORCYCLE」の全国大会で優勝！

モトパーク勝沼で開催された「2003 CAMPUS OFFROAD MOTORCYCLE」で二輪部が総合優勝し、見事全国大会三連覇という快挙を成し遂げました。当日は爽やかな秋晴れとなったものの、朝夕の冷え込みのせいでコースに霜が残ってしまいました。しかしそんな条件にもめげず、阿部健至選手、森本浩亮選手らは今大会から新設された「フレッシュマンクラス」で健闘。また、「OBスプリント」では途中から1位に躍り出てそのままトップを維持した阿間郁生選手、国際B級の実力を「スプリントA・B」「エキスパート」で発揮した津山静雄選手、「ビギナーズ&レディーズエンデューロ」でレースの流れを引っ張った西村拓摩選手、「エキスパート」で力強い走りを見せてくれた片本満大選手など、選手一人ひとりが実力とチームワークを十分に発揮できた全国大会でした。総合217ポイントを獲得して見事優勝カップを持ち帰った二輪部に、今後ますますの活躍が期待されています。

